

経営比較分析表（令和2年度決算）

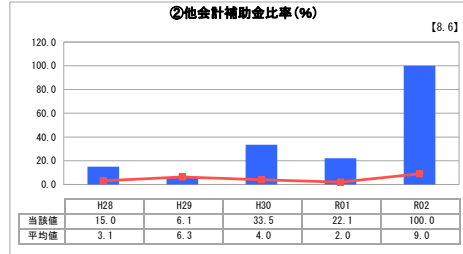
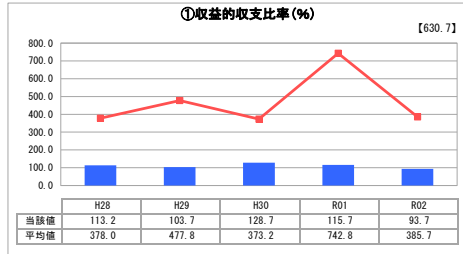
岐阜県高山市 広小路駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	51	

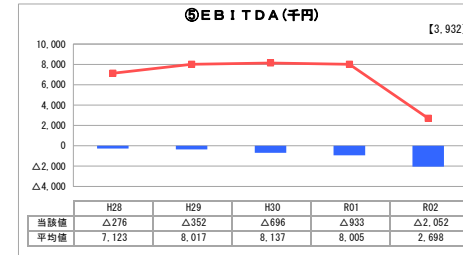
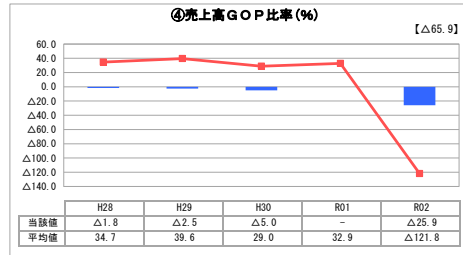
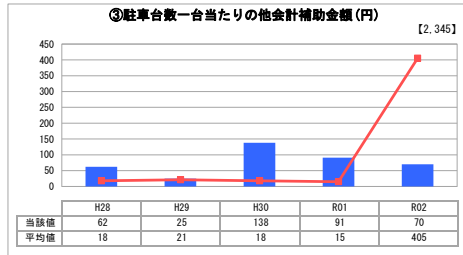
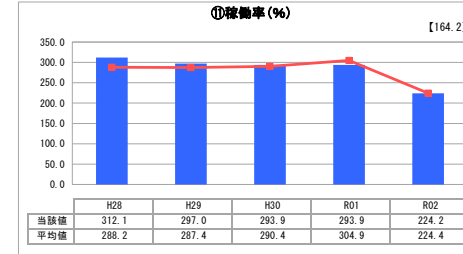
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	有	1,201
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
33	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

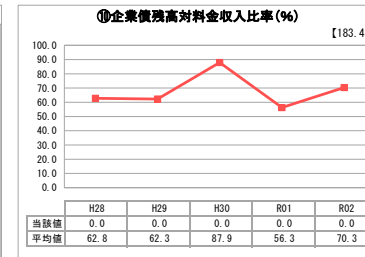


⑦敷地の地価 (千円)

178,949

⑧設備投資見込額 (千円)

17,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収益比率は類似施設と比較して下回っている。
 ・他会計補助金比率は類似施設の平均を上回り、駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を下回っている。
 ・当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で投入している。当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 ・高速道路を中心とする道路網の整備により、都市部からの利用者が増えている中で、当施設は駅や市内観光地に近いことからリピーターも多く、収容台数が少ないため満車となる事や時間帯によっては回転率の高い施設ではあるが、令和2年度はコロナウィルス感染症の影響もあり稼働率は減少している。

全体総括

・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増えていることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
 ・近年は、民間駐車場の増加により、設置当初との状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

経営比較分析表（令和2年度決算）

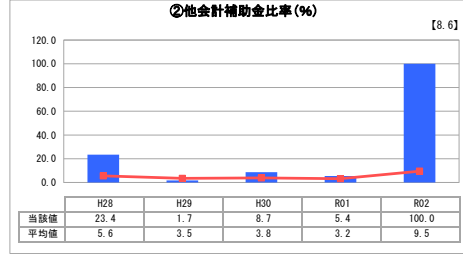
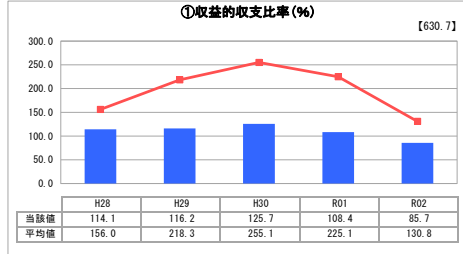
岐阜県高山市 神明駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	51	

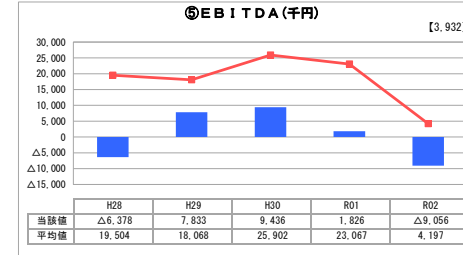
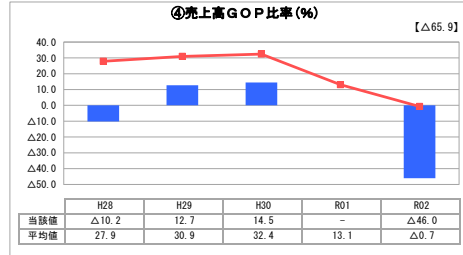
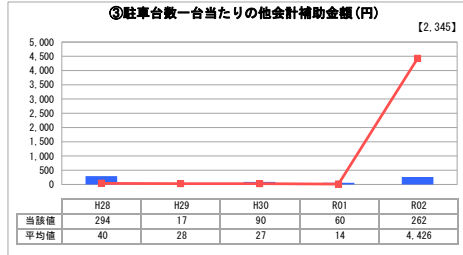
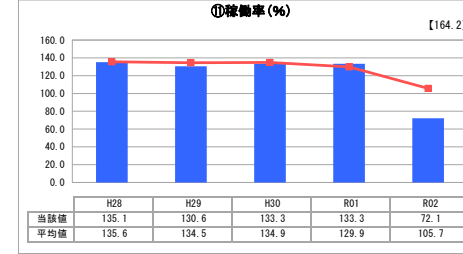
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	2,508
収費台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
111	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

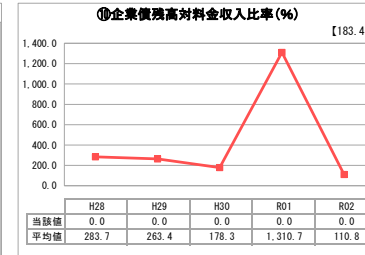


⑦敷地の地価(千円)

371,901

⑧設備投資見込額(千円)

33,480



分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収益比率は類似施設と比較して下回っている。
 ・他会計補助金比率は類似施設の平均を上回り、駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を下回っている。
 ・当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で投入し、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 ・高速道路を中心とする道路網の整備により、都市部からの利用者が増えている中で、当施設は市内観光地に近いことからピーターは多い。
 ・収容台数が少ない施設のため満車となる事も多く、回転率の高い施設である。
 ・また、市内観光地に最も近い場所に大型区画を有する駐車場であることから、大型区画の回転率も高い施設であるが、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響もあり稼働率は減少している。

全体総括

・当該事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増えていることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
 ・近年は、民間駐車場の増加により、設置当初の状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

経営比較分析表（令和2年度決算）

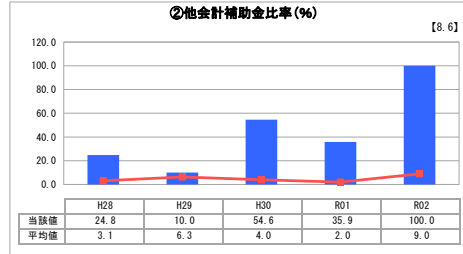
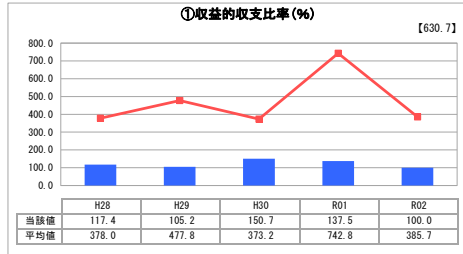
岐阜県高山市 弥生橋駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	49	

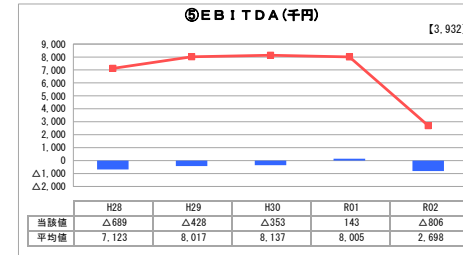
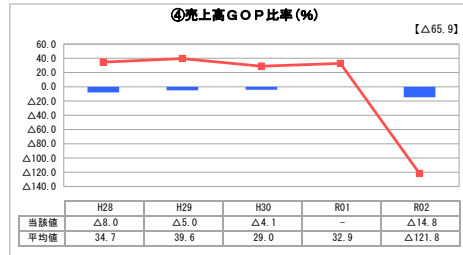
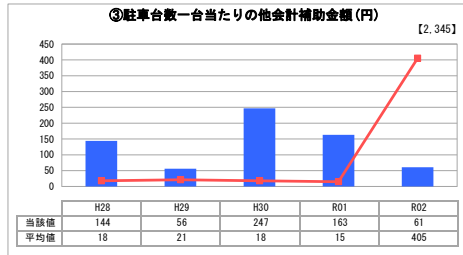
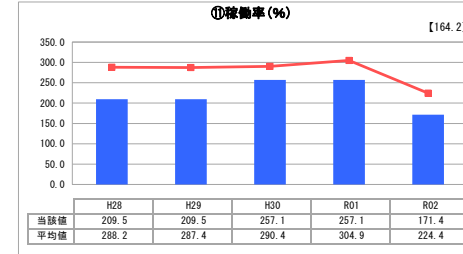
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	800
収費台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
21	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

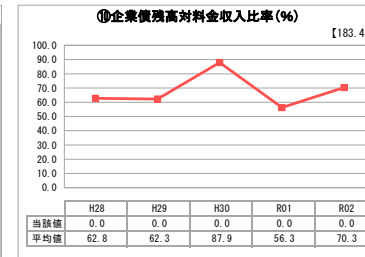


⑦敷地の地価(千円)

90,400

⑧設備投資見込額(千円)

16,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収益比率は類似施設と比較して下回っている。
 ・他会計補助金比率は類似施設の平均を上回り、駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を下回っている。
 ・当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で扱入れし、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 ・高速道路を中心とする道路網の整備により、都市部からの利用者が増えている中で、当施設は市内観光地に近い施設である。
 収容台数が少ないため満車となる事も多く、回転率の高い施設ではあるが、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響もあり稼働率は減少している。

全体総括

・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増えていることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
 近年は、民間駐車場の増加により、設置当初との状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

経営比較分析表（令和2年度決算）

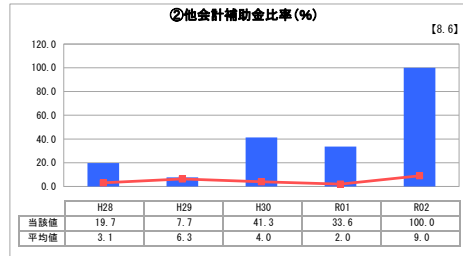
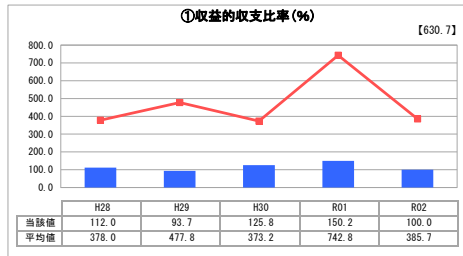
岐阜県高山市 えび坂駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	32	

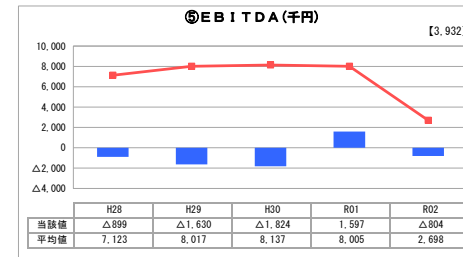
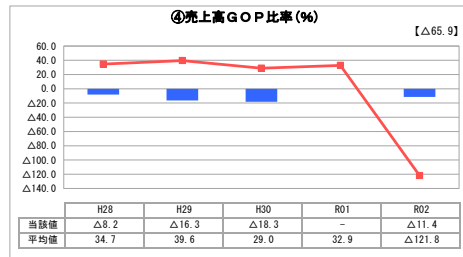
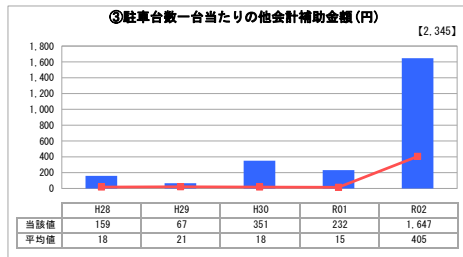
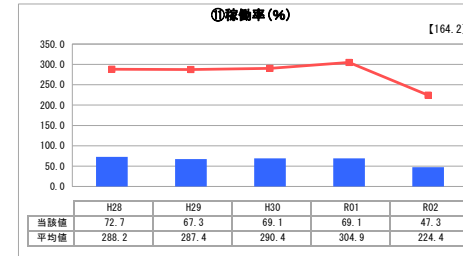
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	1,929
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
55	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収益比率は類似施設と比較して下回っている。
 ・他会計補助金比率及び駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を上回っている。
 ・当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受入れし、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 ・高速道路を中心とする道路網の整備により、都市部からの利用者が増えている中で、当施設は市内観光地に近いことからリピーターも増えている。収容台数が少ない施設のため満車となる事も多く、閑散期においても土日祝日は回転率の高い施設となっているが、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により稼働率は減少している。

2. 資産等の状況

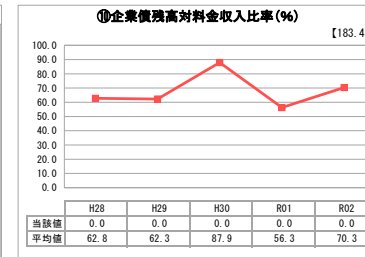


⑧敷地の地価(千円)

181,326

⑨設備投資見込額(千円)

17,000



全体総括

・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増えていることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
 ・近年は、民間駐車場の増加により、設置当初の状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

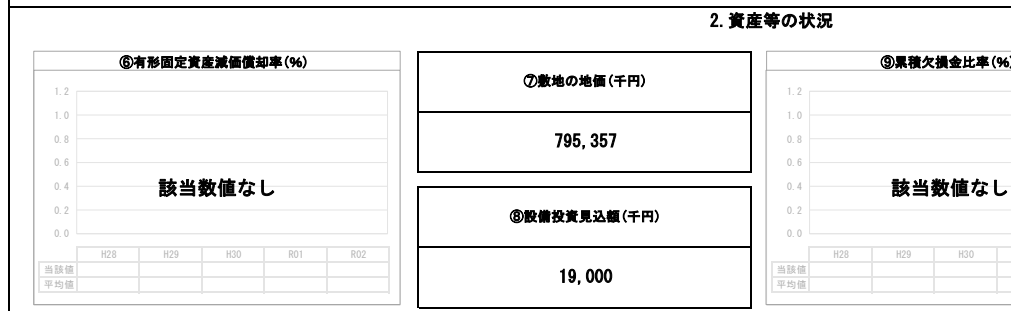
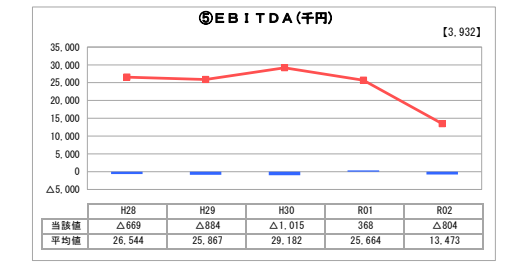
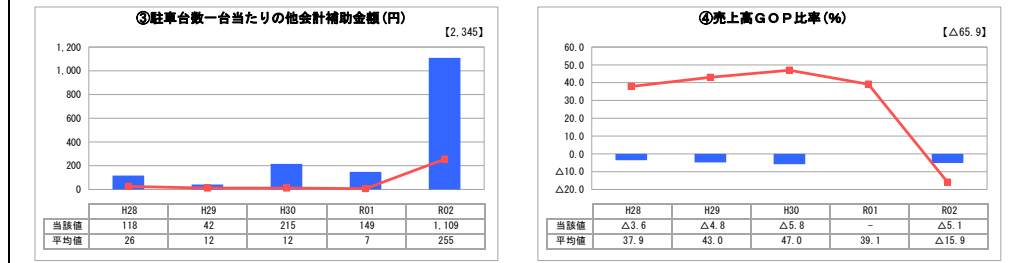
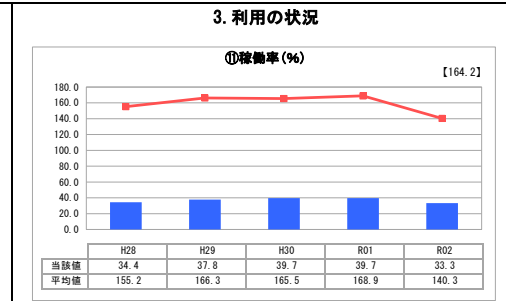
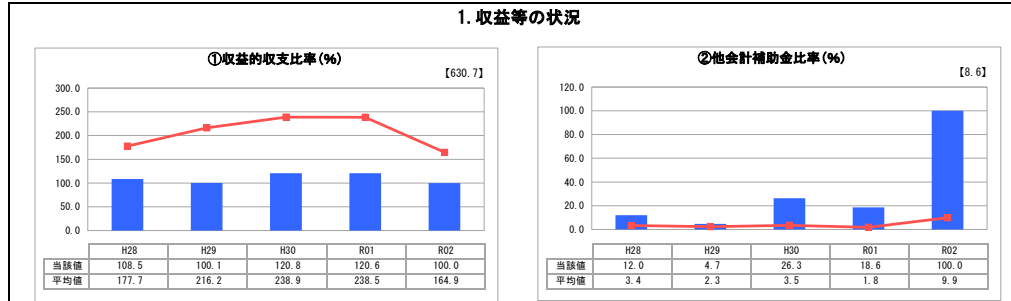
経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県高山市 花園駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	25	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	11,871
収費台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
156	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

- 収益比率は類似施設と比較して下回っている。
- 他会計補助金比率及び駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を上回っている。
- 当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受入れし、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について

- 有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について

- 当施設は、市役所本庁舎に併設した施設であり、平日は来庁者の駐車場としての機能が主となっている。
- 市役所横に立地していることで観光客にも分かりやすい施設であることから、土日祝日においては観光利用も増加するが、令和2年度はコロナウィルス感染症の影響により稼働率は若干減少したものの、利用の大半は来庁者や定期利用者のため影響は例年と比較しても僅かな減少で納まっている。

全体総括

当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増加していることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。

近年は、民間駐車場の増加により、設置当初の状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

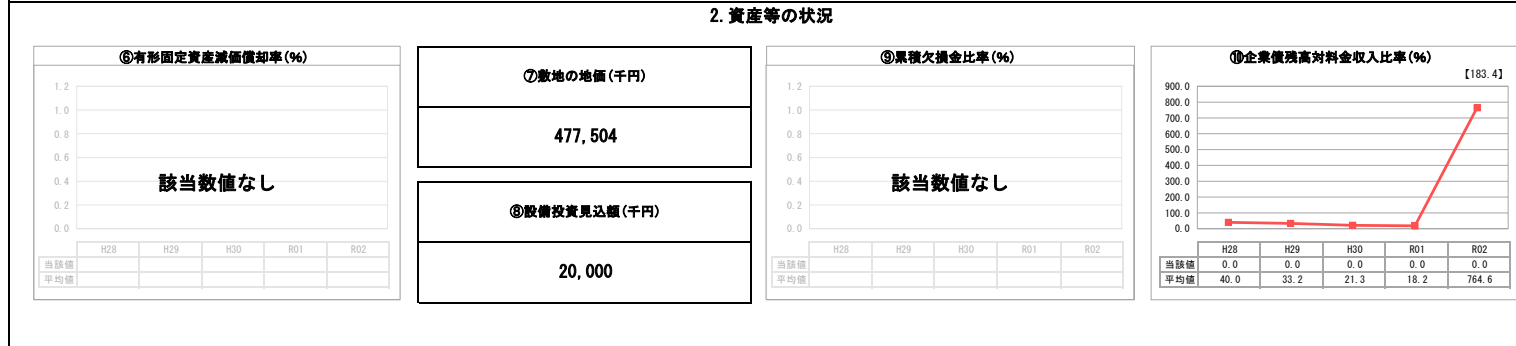
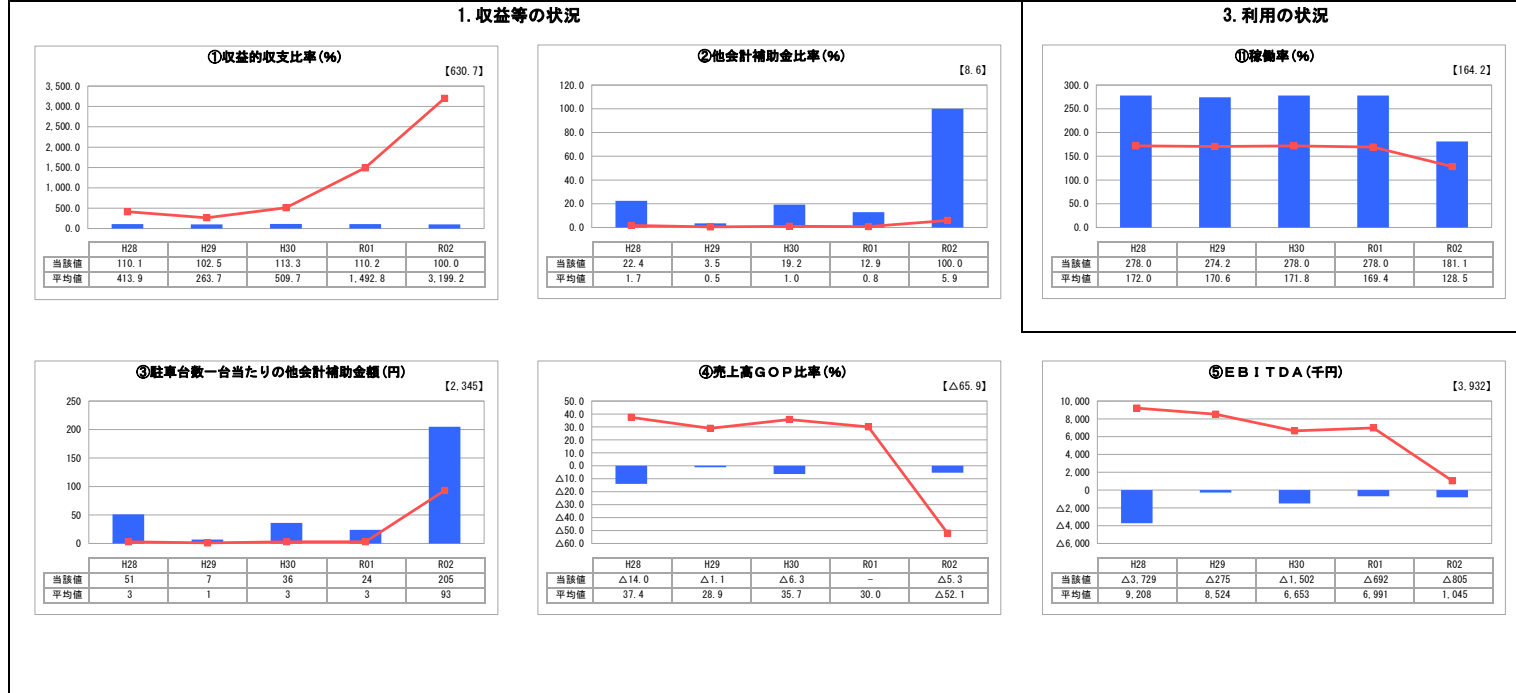
経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県高山市 空町駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	23	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	有	4,974
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
132	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

- 収益比率は類似施設と比較して下回っている。
- 他会計補助金比率及び駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を上回っている。
- 当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受入れし、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について

- 有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について

- 当施設は、市立図書館横に併設しているため、利用者の多くは来館者によるものである。
- 観光地へのアクセスも良い事から、土日祝日だけでなく平日における観光利用も多く閑散期においても稼働率は高い施設となっているが、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により稼働率は減少している。
- 課題として、図書館来館者の駐車場利用については無料化されてしまうため、来館者の利用率が増加すると収益率が減少することとなる。そのため収益を向上するには観光目的による利用拡大を図っていく必要がある。

全体総括

- 当該事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増加していることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
- 近年は、民間駐車場の増加により、設置当初との状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

経営比較分析表（令和2年度決算）

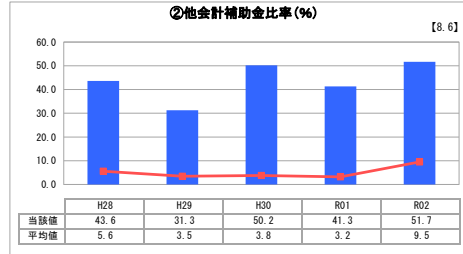
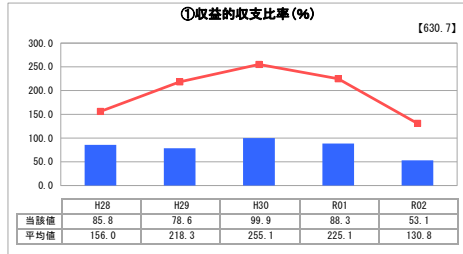
岐阜県高山市 かじ橋駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	22	

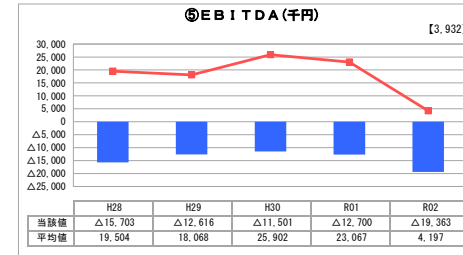
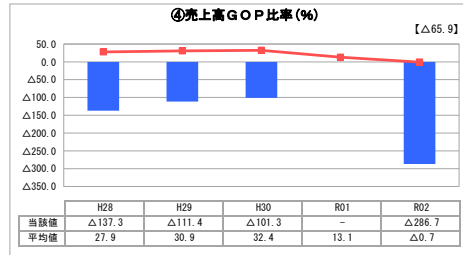
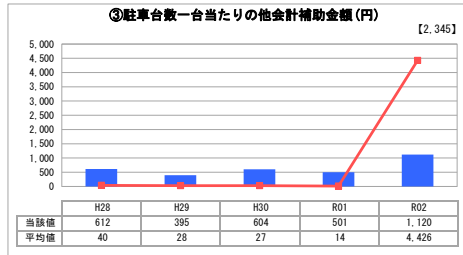
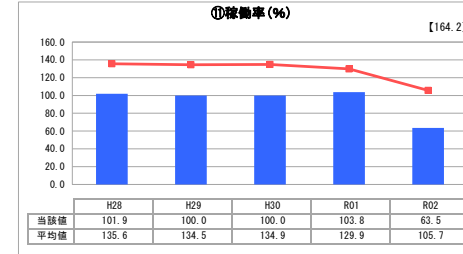
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	922
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
52	300	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

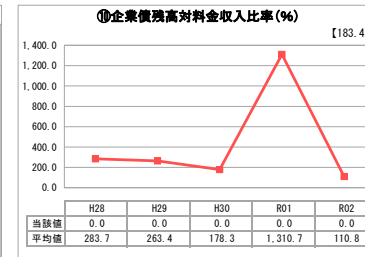


⑦敷地の地価(千円)

52,992

⑧設備投資見込額(千円)

58,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収益比率は類似施設と比較して下回っている。
 ・他会計補助金比率は類似施設の平均を上回り、駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を下回っている。
 ・当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で扱入れ、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 ・当施設は、街中心部に位置する商店街に位置する駐車場である。商店街への買い物客のほか、観光地へのアクセスも良いことから観光客の利用も多く、繁忙期においては満車となる事も多い施設である。
 また、近隣のホテル宿泊者の駐車場として利用される機会も増えてきているが、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により観光利用、宿泊利用が減少した事に伴い、稼働率も減少している。

全体総括

・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増加していることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
 近年は、民間駐車場の増加により、設置当初の状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

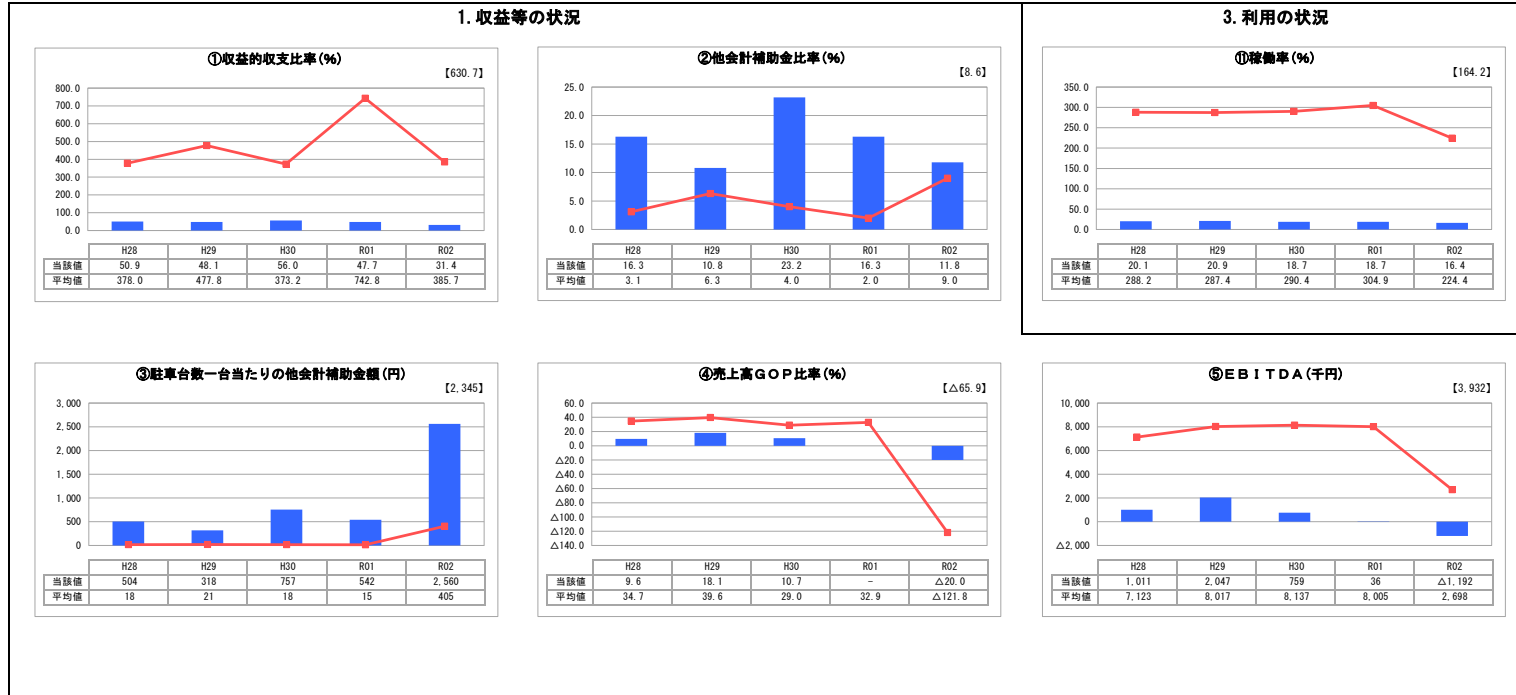
経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県高山市 天満駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	21	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	4,308
収費台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
134	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

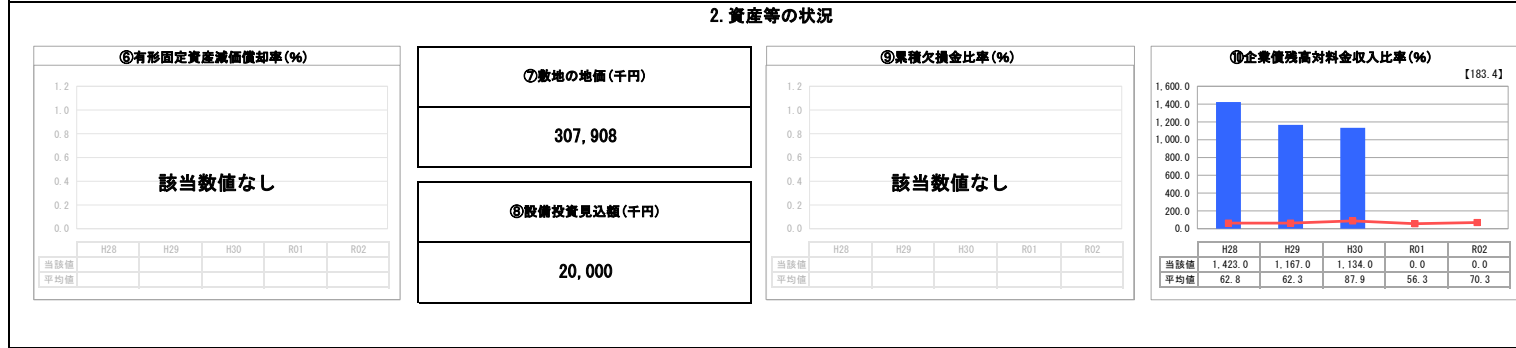
- 収益比率は類似施設と比較して下回っている。
- 他会計補助金比率及び駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を上回っている。
- 当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で受入れし、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について

- 有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について

- 当施設は、市街地中心部から少し離れた場所に立地した施設となっている。
- 平日の主な利用は月極定期利用であるが、当施設は大型区画を有していることから、休日やイベント開催時には大型バスを当施設へ誘導して、市内の混雑緩和を図るなど、市内の渋滞対策としても重要な役割を担った施設となっている。



全体総括

- 当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増加していることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
- 近年は、民間駐車場の増加により、設置当初との状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

経営比較分析表（令和2年度決算）

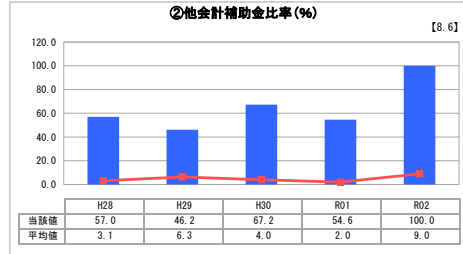
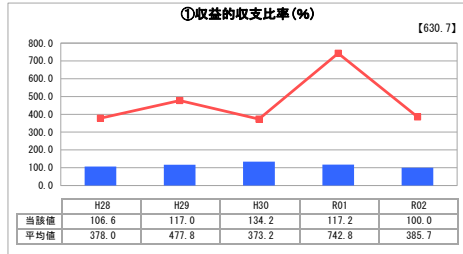
岐阜県高山市 不動産駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	17	

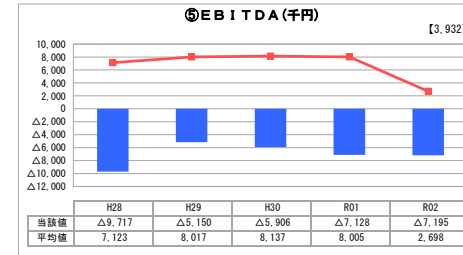
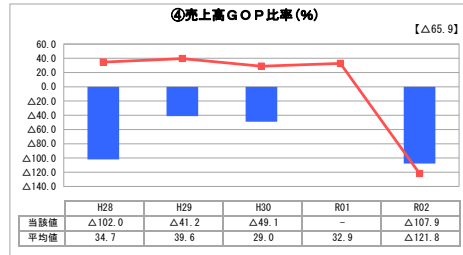
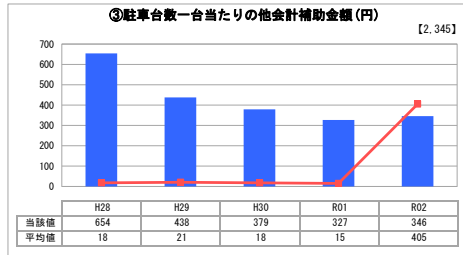
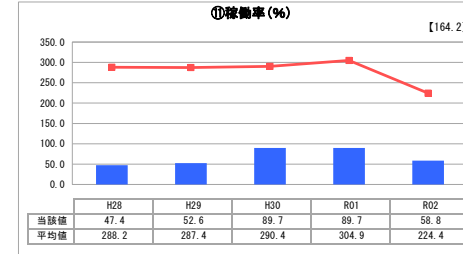
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	3,826
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
97	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 ・収益比率は類似施設と比較して下回っている。
 ・他会計補助金比率は類似施設の平均を上回り、駐車台数1台当たりの他会計補助金額は類似施設の平均を下回っている。
 ・当事業は指定管理者制度を導入しており、駐車場の管理運営収益を納入金として普通財産で認められ、当施設の必要経費は普通会計から補助金収入とする経理を行っている。

2. 資産等の状況について
 ・有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について
 ・当施設は、市街地中心部から少し離れた場所に立地した施設となっている。
 ・平日の主な利用は月極定期利用であるが、当施設は大型区画を有していることから、休日やイベント開催時には大型バスを当施設へ誘導して、市内の混雑緩和を図るなど、市内の渋滞対策としても重要な役割を担った施設となっている。

2. 資産等の状況

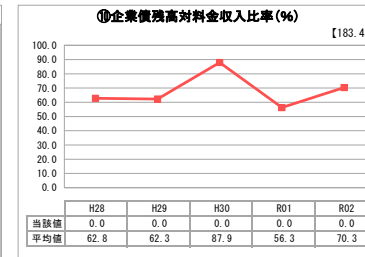


⑧敷地の地価(千円)

305,315

⑨設備投資見込額(千円)

18,000



全体総括

・当事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増加していることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
 ・近年は、民間駐車場の増加により、設置当初の状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。

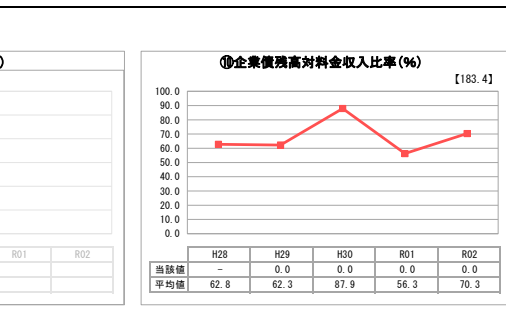
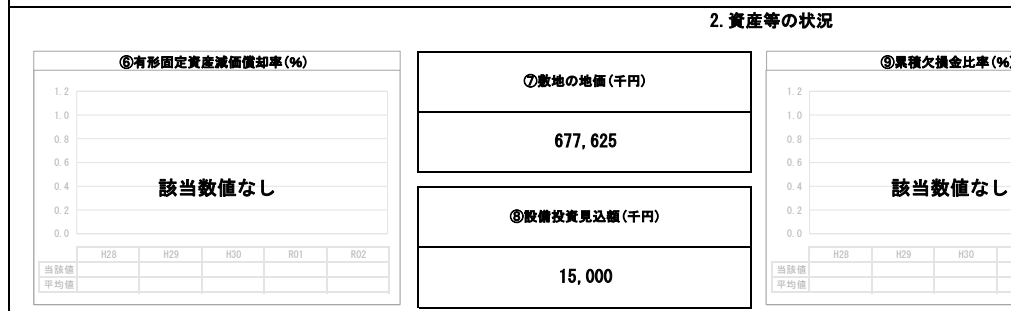
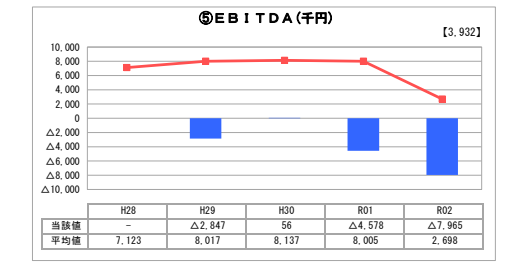
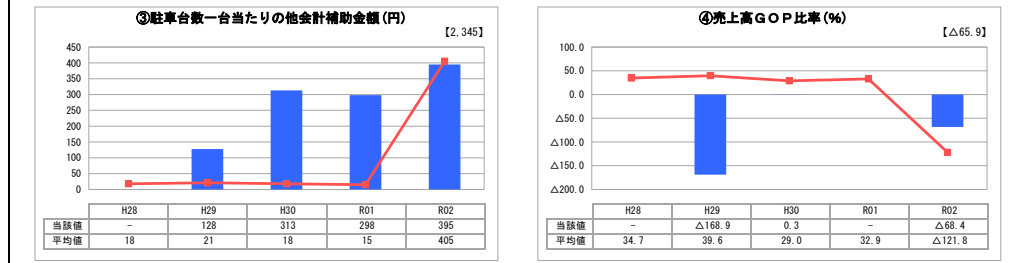
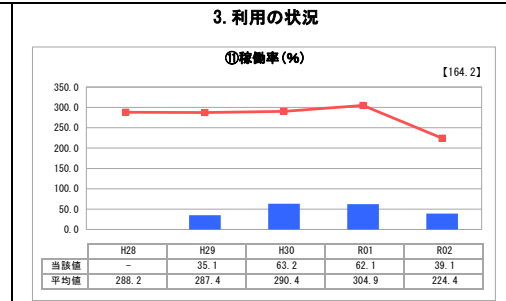
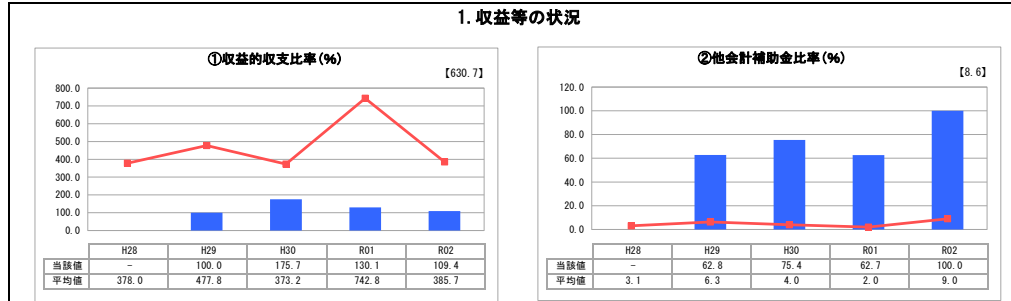
経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県高山市 高山駅西駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	4	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	有	5,421
収費台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
174	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

- 収支比率は、類似施設と比較し下回っている。
- 他会計補助金比率は類似施設の平均を上回り、駐車台数1台あたりの補助金額は類似施設の平均を下回っている。
- 当事業は、平成29年度に供用開始して以降、駐車場の管理運営収益を受け入れ、当施設の建設改良費など必要経費を普通会計からの補助金収入として経理している。

2. 資産等の状況について

- 有形固定資産については、普通会計財産として保有しており、減価償却等の経理はおこなっていないが、保有財産の老朽化は進んでいるため、今後は計画的な整備が必要である。

3. 利用の状況について

- 当施設は、市街地中心部から少し離れた場所に立地した施設である。
- 平日の利用者の多くは定期利用者であるが、公共施設（駅、文化会館、福祉センター、国の機関など）が隣接していることから、昨今はそれらの施設利用者の利用も多くなっている。
- また、大型区画を保有しているため、休日やイベント開催時には、市内の混雑緩和を図るため、当施設への交通誘導を実施しており、市内の渋滞対策としても重要な役割を担っている。
- 近年は、駅周辺にホテルの開業が増加したことから、大型バスの利用も伸びているが、令和2年度はコロナウィルス感染症の影響もあり稼働率は減少している。

全体総括

- 当該事業は中部縦貫自動車道や東海北陸自動車道の整備により、都市部からの車両流入が増加していることから、主要道路の渋滞緩和対策として市街地周辺に設置しているものである。
- 近年は、民間駐車場の増加により、設置当初の状況は変化しており、公共施設等総合管理計画における個別計画の推進、主要道路の車両通行調査の定点実施、市街地での歩行者を含めた交通量調査の実施するなどとして、より効率的な駐車場誘導体制の確立により安定した経営に努めていく必要がある。